

2024.5.15 国会請願行動



治安維持法犠牲者に謝罪をと国会請願。犠牲者菱谷良一が訴える。



No. 600

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

移も一言

内閣官房長官が使途を明らかにせず勝手に使える官房機密費。菅義偉長官は7年8ヶ月の在任中に86億8000万円使ったという。

最近、河村建夫氏が在任中「陣中見舞い」として選挙に使ったことを暴露したが、かつて野中広務氏は政治評論家に渡したことも明かした。返したのは田原総一朗氏だけだったという。テレビで政権擁護の発言ばかりする「識者」を見ると、「きつとこの人も官房機密費から金をもらっているのだろう」と思ってしまう。

報道の自由を取り戻すために

前川喜平

政治に対してもメディアに対しても、あらゆる手段を通じて粘り強く批判の声を挙げ続けることが必要だ。

私が田中優子前法政大学総長とともに共同代表を務める「テレビ輝け！市民ネットワーク」は、市民の協力による株主提案を通じてテレビを変えようとする新たな取り組みだ。当面の対象はテレビ朝日。報道の自由を取り戻し、政権の監視と批判を復活させ、再び輝いてほしいと願っている行動なのである。



メディアが政権への監視と批判を怠るようになれば、権力者の悪政を国民が知ることができず、

(現代教育行政研究会代表)

主な記事

- 私も一言／前川喜平 1
- 第51回国会請願行動 2
- 顕彰碑／三多摩9条の碑 5
- 抵抗の群像／長尾有 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

第51回国会請願行動

岸田政権による大軍拡予算、

自衛隊の米軍との指揮権一体化、経済機密保護法など国内の弾圧立法化など「戦争できる国」づくりの大暴走が進行中、

憲法への自衛隊明記・緊急事態条項新設の策動などが続く中、国賠同盟の51回目の国会請願行動が5月15日、おこなわれました。沖縄から北海道まで全国36都道府県の代表150人が参加し、治安維持法による弾圧犠牲者への国に謝罪と国家賠償法の制定を求めた11万4千余筆の署名が提出されました。



浦々で集められた署名に国民の

衆院第一議員会館で開かれた集
会には小松実副会長が司会。吉田万
三会長は来年在治安維持法施行1
00年の節目にあたり、「国民の
自由を奪う監視社会が再来する危
険な状況を阻止
しよう」と全国津々



国会請願行動に敬
意を表する。実質
的な改憲阻止に党



「国会で審議中
の経済安保法、地
方自治法改悪など
は『戦争する国家』
づくりをねらう法案で容認できな
い」(宮本さん)、「みなさんの

共通の願いが込められている」と
あいさつしました。行動には19
41年の「生活図画事件」の被告
菱谷良一さんが102歳の高齢を
おして北海道から駆け付け、画学
生として逮捕され零下30度の酷寒
の刑務所に入れられ自白を強いら
れた体験を語り、「私の息の続く
限り不当さを訴える」と述べ、大
きな拍手に包まれました。昼には
自由法曹団の弁護士さんと親しく
懇談しました(別項3面)。

全体集会には、日本共産党の宮
本岳志衆院議員、山添拓参院議員、
立憲民主党の近藤昭一衆院議員が
参加し、あいさつ。日本共産党の
志位和夫、本村伸子両衆院議員、
小池晃参院議員の秘書が紹介され
ました。



として頑張りたい」(近藤さん)。
と激励しました。このあと、参加
者は手分けして、150人の衆参
議員事務所を訪問・対話し、署名
簿を手渡し、紹介議員一覧が載る
『治安維持法と現代』春季号を贈
呈しました。

最後にかけてつ
た、山添さんは
「新たな戦前をと
めるために、みな
さんと共に頑張りたい」と激励し
ました。

また長野県の「2・4事件」の
犠牲者の子である立沢和樹さんも
初参加し、父の日記と「手記」か
ら事件の狙いを報告しました。
請願の要請行動の報告集会

各ブロックから10人が報告しました。

○北海道の代表は、請願署名は
2500筆を目標に2200筆ま
で行ったが残りをやりたい。

○岩手盛岡市議の女性は、初め
て参加しました。治安維持法の無
反省がいろいろ反映していること
を感じます。若い世代の一翼を担っ
てかンばっていききたい。

(3ページにつづく)



人工知能が急速に
進歩し、フィードバッ
クによる改良を繰り返す
AGI(汎用人工知能)の時代がやっ
て来るそう。このAGIは20
45年頃に、人間の脳を超える
と言われる▼科学技術の進歩は、
人類にとって有益なものとなるこ
とが望まれるが、同時に不幸をも
たらすこともある。例えば、穀物
の栽培は飢餓を解消する一助とな
ったが、貧富の差や階級社会を形
成した。また、ダイナマイトの発
明は戦争の道具ともなった▼将来、
人間の脳の能力を超えたAGIが
自身と地球の存続を守るために人
類を滅ぼす選択をしないとも限ら
ない。科学技術の成果は、その時
点での社会体制によって、人類の
幸福や不幸を左右することにもな
る▼戦争は無益なものであり、軍
事に投じられる資金を人類の福祉
のために使えば、より良い世界が
築けるはずだ。不必要な武器を手
放し、平和への道を歩む方向に進
むべきだ。進歩したAGIも同じ
思いだと良いのだが。

(樹)

石川・尾西洋子5人

初参加ですが、補選で当選した立憲民主の山田議員は承諾をいただきました。お茶をご馳走になりました。

「菱谷さんの逮捕状況や世間の空気が」「警察の取り調べ方、調書の作成のやり方は。証拠のでっち上げの内容は」「被告家族の悔しさや戦後の思いはどうだったか」など多岐にわたる質問があり、菱谷さんは、一問ごとに感情を抑えつつ丁寧に、「資本論もマルクス



共産主義
も何も知
らない幼
稚な私を
(無理や
り) 思想
犯に仕立
てた」

「心配し
た家族が
一身をと



三澤弁護士の質問を聞く菱谷さん

してかばつてくれ母親に感謝した」
「天皇の赤子だった私を不当逮捕しひどい目に合わせた権力に腹が煮えかえる。その怒りの思いを、赤いベレー帽子をかぶる自画像として描いた」「憲法が保障する平和・自由をおろそかにしてはいけない。社会に目を向けた若い弁護

士さんたちにも期待したい」と結びました。

三澤さんは「2017年創立の共謀罪は戦前の治安維持法に酷似している。

治安維持法などで6万8千人が不当逮捕された戦前にもどさないため、国民全体の監視、闘いを共にやりましょう」とのべ、国賠同盟と菱谷さんの奮闘に感謝しました。

新たな治安維持法体制を許さない集会開く 群馬

5月25日群馬県の前橋市内で治安維持法・国賠同盟群馬県本部が「ぐんまの自由と民主主義の源流を探るシリーズ第8回治安維持法」を開き、20人が参加しました。

吉村駿一県会長が主催者挨拶を行いました。講師には中央本部の副会長で千葉県会長の小松実氏が「今につながる治安維持法体制に決着を」まだ生きている治安維持法」と題して講演しました。小

松氏は、戦前の治安維持法による弾圧の様子を小林多喜二の虐殺などを取り上げて説明し、戦後の民主化の劇的変化とともに日本を反共の砦にするために政策が転換されたことを強調しました。

この転換の中で旧特高や思想検

事などの復権が大幅に行われ、戦

で反動的な役割を果たしているとして批判し、同

盟の役割を訴えました。(写真)

講演の前には、映画『種まく人びと』治安維持法と闘った人びとを鑑賞し、終了後の質疑応答の中で長谷田事務局長が「群馬の特高警察」を報告しました。

参加者の1人は「とてもわかりやすく勇気の出る話でした」と語り、2人が加盟しました。(県本部事務局長・長谷田直之)

山梨県本部総会を開催

山梨県本部は、5月25日に甲府市内において第36回総会を開催しました。当日は、県内各支部、地域から会員30人が参加しました。

開会あいさつの後、物故者6人の方へ黙とうを捧げ議事に入りしました。共産党県委員会と新日本婦人の会県本部から連帯のあいさつを受けました。4団体からメッセージが寄せられ、同盟中央のメッセージを朗読しました。

事務局より、総括と方針案、決算・予算案、役員の提案を行い、質疑と討論を行いました。討論では各支部から会議、署名活動や学習会の開催、仲間増やし、地方議

会への請願、支部結成の経験と結成に向けての進捗が生き生きと語られました。県同盟としての会員拡大、署名活動の到達と課題、機関紙の編集と今後の抱負が語られました。また女性部からは、ジェンダー平等と女性部としての活動の意義と実践が報告されました。特に、映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映運動について、各地域でのコソコソ

とした活



動と成果、多くの人に感動を与えた事活動を通じての会員拡大、支部結成への弾み、成果を確

信に教訓化が大切など、地域での奮闘が豊かに語られました。

討論の後、議案を全会一致で採択、スローガン、特別決議を確認、団結がんばろうで総会を終了しました。(県本部事務局長・田中鉄夫)

大田における反戦平和の闘い
戦前の治安維持法との闘いを引き継いで

5月2日、大田支部で、大田区での治安維持法との闘いについて、山本昌平元共産党地区委員長の講演を聞きました。

講演会の内容は次のとおりです。

「基調講演」戦前の大田での不屈な闘いの伝統と戦後の闘いへの継承「サブ報告」



①戦前・戦後の東京計器の闘い ②「南葛から南部へ」伊藤憲一さんの足跡 ③戦前の過酷な弾

圧下での京浜労働者グループの社会科学学習が報告されました。

いろいろな行事と重なり、参加者が17人でしたが、参加者からは「大変興味深く、大田の闘いの伝統に確信を持った」との感想が寄せられました。

この講演会で、新たに4人の会員が増えました。

(東京大田支部長・色部祐)

顕彰碑 探訪

「三多摩初の9条の碑」東京・府中

5月7日、府中市南町

付が寄せられました。

6丁目の一角に設置された「9条

プチパークAuchu」で三多摩初、

都内で2番目の「9条の碑」の完

成・除幕式が200人の参加で行

われました。同プチパークの敷地

は農家の林静江さんが50平米を無

償提供。9条全文を彫り込んだ碑

(裏面には賛同者・団体名)と

「あひるを抱く少女のモニュメン

ト」(製作者は府中在住の彫刻家・

久保制一氏)が設置されました。

建立したのは「三多摩初の『9

条の碑』を府中につくる会」。同

会は2022年秋、これまで府中

市で「反核・平和、環境保全、福

祉」を掲げ40年余「けやき平和チャ

リティーコンサー

ト」を開いてき

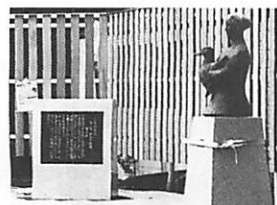
たメンバーを中

心に発足。建設

にあたっては個

人、団体から1

000万円の寄



除幕式後会場を府中駅前の市民

活動センタープラッツ「バルトホー

ル」に移動し「完成のつどい」が

開かれました。300人が参加し

た「つどい」では、会の顧問とし

て運動を励ましてきたジャーナリ

ストの伊藤千尋さんが講演。来賓

の高野律雄府中市長、小森陽一

「九条の会」事務局長、賛同人の

堀尾輝久東京大学名誉教授らが挨

拶。シンガーソングライターの大

熊啓さんが新曲「世界は9条(あ

なた)を待っている」などを披露

しました。

なお、関係者は「碑」の建設を

「9条を守れ」の幅広い市民運動

に繋げて行く準備に入っています。

(都本部府中・丁 弘之)

【交通】(京王線府中駅バスター

ミナル⑤コミュニティバス(ちゅ

うバス)「よつや苑西ルート」乗

車、芝間稲荷下車すぐ)

今日の同盟運動論学習に最適

千葉県本部ブックレット刊行



同盟千葉県本部は、創立50周年を記念して『いまにつながる治安維持法体制に決着を』と題するブックレット(写真)を発行しました。

第I部は、中央本部副会長の小松実氏の「いまにつながる治安維持法体制に決着を」とし、戦前の特高官僚54人が戦後、国会議員として復活し戦後政治を歪めてリードして来た、その後の系譜も含めて解き明かしたものです。昨年の関東ブロックで好評の講演に大幅に加筆し一挙掲載。

第II部は、荻野富士夫・小樽商科大名誉教授の「特高警察が踏みにじった人々の記録―千葉県編」の出版記念講演録で、治安維持法はどのように悪法であったか、な

どを解き明かしています。

第III部は、伊藤千代子研究者・藤田廣登氏の「治安維持法強行成立から100年」を俯瞰し、国賠同盟の存在意義、同盟運動論などの解明を行っています。

B5判・110頁、頒価1000円+送料実費。10冊以上注文の場合割引があります。申込みは千葉県本部まで

FAX 043・441・5094
090・7909・0849 (小松敦)

静岡県女性部が呼びかけ8人の女性会員増やす

静岡県女性部は、風薫る5月、メーデー、憲法集会などにゼッケンをつけ署名簿を持って参加しました。

また国賠旗を持ってメーデー行進の先頭を歩きました。こうした闘いの中で女性部が中心に呼びかけ4月、5支部で8人の女性会員を増やしています。

「静岡女性部ニュース5月15日号」より。

抵抗の群像



労働者・農民の同盟で選挙と議会での前進に奔走した

ながお たもつ
長尾 有

「淡路 賀集には百姓の生き神様がおられる」

こんな噂が、淡路島の南部の農民たちの間でささやかれ広がっていた。小作地は全耕作地の半分以上。収穫の半分以上の小作料以外に、淡路では麦作の収穫を65%取り上げ。淡路は水不足で溜池利用に水小作料も取られ、農民は貧困にあえぐ。

長尾有は兵庫県三原郡阿万村に生まれ、大阪齒科医学校を卒業。

父は商売に失敗し朝鮮へ渡り行方不明に。大阪で労働運動と科学的社会主義に傾倒した長尾は、小地主の弟芝先家に寄宿。早魃と不作下の農民の小作料減免要求を知り、地主会では百町歩も有した淡路銀行経営の大地主の「減収は認めるが小作料をまけると癖になる」と独断で決めたことに「減収を認め小作料を負けん、そんな話があ

るか」と抗議、自分の土地では小作要求を受け入れ、周囲に広がり地主の団結は崩れる。これを契機に長尾は農民運動に身を投じる。

1924年、日本農民組合淡路連合会を結成、弟が田畑屋敷を売り、組合事務所を八幡に建て、結成当初の4支部600人から26年2月には23支部1232人へと拡大。その力で連合会は25年、普選初の村会議員選挙を闘い5村16人の議員を送り出す。

長尾は大阪の日農総本部中央常任委員として活動を始め、各地の運動に学び、大阪で日本共産党に入党。日農顧問弁護士近内金光ら数人で日農内の党グループを結成、責任者となり、淡路での経験を活かし、小作料減免要求額の機械的増額ではなく、農民生活の実態把握で根拠ある要求を提起して地主への闘争力を発揮。地主はみな敵

でなく彼らの矛盾を突き大地主へ闘いを集中、未組織の農民要求を大切にし、全村闘争を組織し、三原郡湊町争議、津名郡都志町争議を全村争議で実践。

根本的解決の道は、耕作権の確立、土地の農民的所有に移すこと。そのために天皇制政府と闘い、労働者・農民の同盟で選挙と議会での前進を計ることを展望する必要を提起した。ここに彼らの歴史的役割があつた。

27年9月、普選最初の県議選で労働党から長尾が立候補。選挙妨害の中、政友会を破り、2839票で2位当選。得票率24%。県議会で長尾は、米麦検査制度の小作人負担をなくす、大資本家大地主のために警官を増員し弾圧体制の強化に反対の論陣を張るなど農民運動が政治闘争へ進出の重要性を示す例証となる。

正論を述べる長尾を、兵庫県は選挙被資格にし当選無効を申し立てて妨害。長尾は、県議会で選挙弾圧・干渉に抗議し反撃質問するが、29年12月に県参事会は選挙法違反で失職。長尾は28年の三・一

五事件で検挙中でした。

淡路を含む兵庫2区労働党候補者は弁護士近内金光。初の普選前の1月、兵庫の労働党と日本労働党は、合同茶話会を開催、三宅右市は「茶話会でなく支配階級への共同闘争が最も必要」と提案。両党は、戦線統一のために闘うことを誓い両党県支部の協定が成立。第1区神戸市では両党共同闘争委員会を組織、日本労働党河上丈太郎、第2区(阪神間・淡路)では、労働党近内金光推薦を決定。

日本共産党神戸地方委員会は、当時、党大阪地方委員会に属した尼崎を除く兵庫県全域が対象地域。近内候補の応援隊は労働党総支部、神戸評議会を組織、淡路に派遣。

2月1日、淡路洲本町の近内演説会は、聴衆1300人をこえる盛況に對して、長尾に続く勝利を防ぐ為、選挙事務長・弁士長尾県議も総検束の弾圧となり、聴衆が抗議、支持は広がり、兵庫県下唯一の労働党候補近内は弾圧の中で4907票を獲得する。

(同盟兵庫本部副会長・田中隆夫)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

絶え間なく待合室にて喋る人かくも寂しきか一人の
日々は 埼玉県 白川 洋子

沖縄を返せと歌い座り込み声上げつづけたウムイ
(思い)をつなぐ 奈良県 塩田 伸子

停戦の締結ならずガザの子ら死を待つ如し空爆の下
岐阜県 和田 昌三

瞳を壊し鏡の自分も会う仲間も顔がかすんで見えぬ
悲しみ 岩手県 牛山 靖夫

北風は唸りペタルに力入れ希望届ける日刊紙配達
埼玉県 細谷 宣朗

駅前から平和の歌が聞こえる核無き国であること
願い 埼玉県 福家 駿吉

びつしりと紫の蘭花ひらきたり能登・ガザの辛苦今
日も続くか 静岡県 江川 佐一

三補選の記事待ちかねて配達の同志玄関に出迎えて
まつ 岐阜県 田中 良

注目の島根一区の当選なり自民王国に風穴開ける
島根県 小玉 信恵

人間の自由とは何?志位さんの民青講義楽しみに待
つ 大分県 渡辺 幹生

《選のあとに》白川作品、孤独に暮らす人への思い
やり、共感を深くにじませながら、作品の背後に作
者の姿が浮かぶ。塩田作品はたたかい続けている沖
縄のウムイに深く心を寄せている。和田作品、国際
的な世論も無視し、ガザの子らを殺しているイスラ
エルへの強い抗議である。

俳句

皆既日食二〇三五という未来

望月たけし選

蚊を打って裏金記事を閉じて立つ 東京都 岡崎たかね

武器を置き雷雨来る前線を振れ 神奈川県 天野三葉子

青葉一面中より水色じやがの花 埼玉県 小池 荘八

メーデーや家族そろって拳突く 埼玉県 浅子 薫衣

《選》一句目、次の皆既日食は11年後の2035年。
自民党政治を終らせ、立憲政治をどこまですすめて
いるか、この句の「未来」には大きな希望がある。
二句目の「蚊を打って」五句の「そろって拳を突く」
とてもいい瞬間。

川柳 鈴木いさお選

川柳

少子化に思うは憶良の子は宝 埼玉県 福家 駿吉

《選》「憶良は今では罷からむ子泣くらむその彼の母
も吾をまつらむぞ」。万葉歌人山上憶良の代表作を、
現代の少子化へ結びつけ警告した一句。

環境省水俣病に耳塞ぐ 北海道 三隅 雅游

憲法を守らぬ者が変えたがる 東京都 稲邑 明也

憲法の泣く国になる武器輸出 兵庫県 岸本 守

朝市を遺跡にするな石川県 大阪府 佐々木雅博

野呂栄太郎没後90周年の碑前祭

戦前の日本共産党の指導者で理
論家の野呂栄太郎生誕123年、
没後90周年碑前祭が4月30日、生
まれ故郷である北海道長沼町で開
かれました。

約70人が参加し、特高警察の拷問で33歳10カ月という若さで閉じた生涯を悼みました。

同盟道本部の歌代英蔵会長が「野呂がまいた種は大きく咲き、枯れることなくたくましくなっている。戦争国家の道を歩み続ける自公政権に断固反対し、平和な日本をつくることを碑の前で誓います」とあいさつしました。

日本共産党、はたやま和也元衆院議員は「社会革命に情熱を注ぎ、変節に転ずることなく貫いた先見性と不屈性、ヒューマニズムを学び今の時代に生かしていきたい。解散総選挙では必ず議席を獲得し、みんなで勝利し野呂に喜びの報告をしよう」と呼びかけました。

岩見沢、美唄市と長沼、栗山、南幌3町の首長らのメッセージが紹介されました。

(しんぶん赤旗5月8日より転載)

同盟機関紙『不屈』 600号になりました

「不屈編集長 中村茂樹

同盟は1968年3月15日に結成されましたが、前年の67年2月15日に団体名「治維法犠牲者国家賠償要求同盟」の機関紙として『会報』(タイプ印刷半紙版24頁)が発行されました。

記念すべき1号の内容は、1



ページ、トップに「力強く前進しよう『会報』」が発行に当り

て」の記事で『「本同盟設立の訴えを発表して以来、すでに148名の会員を登録しました。同時に、積極的な激励や指導的な投稿とともに、少数の反対意見も寄せられました。反対意見とは「すでに時効にかかっているので20年前にこの運動をやればよかった」(中略)等々です。だが本同盟は最初から

東京都知事選

(6月20日告示、7月7日投票)

立憲民主党の蓮舫参議院議員が都知事選に無所属で立候補を表明。共產党は全面的に協力を表明しました。

が都委員長の復権処置の可否までが論ぜらるに至った。

訴訟闘争として企図しているのではありません。『人民に対するファッ

シヨ的弾圧を強行した、反動政府

の責任を追及するための、国民運

動を組織して、その発展過程にお

いて国賠を闘いとりとにも、ふ

たたび治維法類似の弾圧法令の復

活をゆるさない、そのために闘う

こと、これが本同盟の目的として

いるところです。』と同盟の発足

意義が熱く述べられています。

そして機関紙の題字が『会報』

から『不屈』(47号)に変わった

のは197

8年3月15

日号からで

す。ちなみ

に題字は同

盟員の春日正一元参議院議員です。

1面トップ記事として、会長の

福田力之助(1931年の山形地方

裁判所赤化事件の犠牲者)が

「同盟結成10周年を迎えて」と題

して『民社党春日委員長の国会に

於ける違憲質問から治維法も当時

は適法であり判決は正しかった

た如き言説が横行し、雑誌

や週刊誌に日本共産党宮本

委員長の復権処置の可否ま

でが論ぜらるに至った。

我が同盟も脚光を浴び大衆の関心

を引き、その存在意義が明らか

になった。(中略)「まつだ、と

きこ」さんは「過去、この党が敗

北したときには国民が無権利にさ

れ、言葉さえうばわれ・生きとし

生けるものに安堵というものがな

かった」(巨樹への想い)と治維

法時代の恐ろしさを述べている。

今こそ我が同盟の旗のもとに大衆

を結集して、権力犯罪を断乎排撃

する一大勢力としなければならな

いと信じます」と決意を語ってま

す。

【訂正】

本紙4月号6ページ「抵抗の群像」の2段目6行目の川上肇を河上肇に訂正します。

事務局 日誌

5月1日 中央メーデー
5月3日 2024年中央憲法大集会
5月6日 平和行進告発式
5月7日 国会請願挨拶要請
5月8日 「不屈」編集会議
5月15日 国会請願
5月23日 日本母親大会実行委員
5月24日 全労連会館運営委員会
5月27日 第2次国会請願

2024年春季号 (47号)

『治安維持法と現代』

好評発売中



◆治安維持法犠牲者に国家賠償を求める請願の23年度紹介議員のみなさん(衆・参両院一覽)◆【巻頭】自民党の教育政策の功罪=前川喜平、緊急事態改憲論の問題点=小沢隆一、経済安保秘密法案の危険な仕掛け=井原聰【学習コーナー】自民党派閥の裏金事件の組織的犯罪=山本豊彦、「維新の会」をどう見るか=小松公生、柳河瀬精氏が遺した仕事=小松実【話題の現場】「唯一の全国紙」掲げる読売新聞=大手町一【エッセイ】「立春大吉」を語る=浅尾大輔【闘いと抵抗の群像】長野2・4事件と信濃教育会、満蒙開拓青少年義勇軍=立沢和樹、ダダ・カンスケの生涯=江崎淳、近内金光と治安維持法=田中徹歩【研究】三閉伊一揆170年=牛山靖夫、治安維持法下の東北のたたかい=土井洋彦【同盟活動】滋賀・兵庫・島根・岡山・千葉・愛知・石川・北海道・山梨・東京

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。